



家庭・幼児教育・学校教育から社会へ

Keywords: 教育機関の接続、社会への移行(トランジション)、地方政策、漸進的教育無償化

● 研究概要

子どもたちや若者が、自分の進路を自分自身で選びとり決めていく、その可能性を豊かに保障していく学校・行政・地域の地道な取組みに着目し、「接続」と「移行」を視点としてトータルに研究しています。



所属: 教養・基礎教育部門
教職課程

特任教授

氏名 渡部(君和田) 容子
Watanabe(Kimiwada) Yoko

URL: <https://www.kindai.ac.jp/bost/research-and-education/pickup/licentiate/>

● 研究テーマ

① 地方における保育・教育と漸進的教育無償化

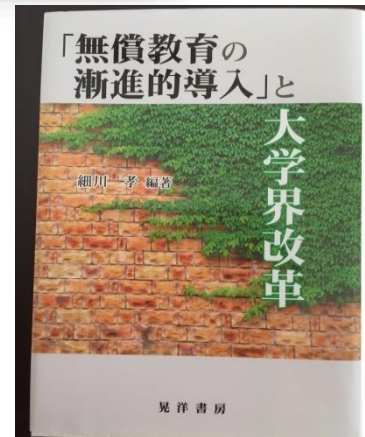
2012年、日本は国際人権規約(社会権規約)13条2項の留保を撤廃し、中等教育および高等教育の漸進的無償化への義務を負うことになりました。授業料のみならず、どのような取組みが各地であるのでしょうか? 就学前から高等教育へ至る「子育て・教育の地域共同システムの在り方と漸進的無償化に係る自治体総合施策の研究」(JSPS科研費19K02465)を進めています。

② 保育所/幼稚園と家庭・小学校・地域との連携

子どもたちの1日24時間全体を見通し、卒園後の育ちを思い描いた保育、小学校とのなめらかな接続を保障するカリキュラム、行政のサポート等を、保育者養成の実践に係る課題から追究してきました。幼児期の保育・教育は、その後の成長発達に大きく影響することはもちろん、親世代の働き方にとっても重要な問題です。また、福祉・教育の分野は、資格取得をして定住を希望する若者の働く場としても魅力的です。総合的な観点から研究を続けています。

③ 工業科教員の養成・産業教育の充実

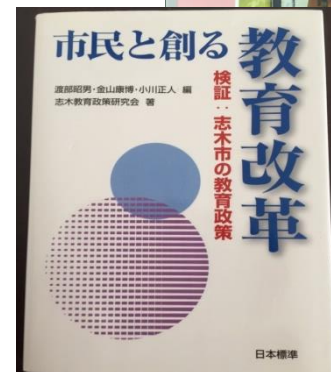
科研費研究(代表)として、「高等学校工業科教員の養成・採用・研修に関する実証並びに比較研究」、「工業高校・高等専門学校・大学工学部の教育システム上の接続関係に関する研究」、「工業高校・高等専門学校・大学工学部・専門学校の接続に関する実証的研究」等を行ってきました。生物理工学部戦略的研究Ⅲでは、工業高校(2017)、高専(2018)、専門職大学等(2019)、高校改革(2020)に関する研究に取り組んでいます。



著書1



著書2



著書3

● 関連の著書・論文・発表等

【著書】

1. 細川孝編著(2014) 高等教育における「無償教育の漸進的導入」と大学界改革、139-166(第7章) 見洋書房
2. 金村美千子編著(2009) 保育原理-保育者になるための基本-、第二版、69-82(第6章)、同文書院
3. 小川正人他編著(2006) 市民と創る教育改革-検証:志木市の教育政策-、152-165(第8章第2節)、日本標準

【論文】

1. 渡部昭男・渡部(君和田)容子(2020) 教育費支援情報に関する都道府県の広報のあり方ー漸進的無償化に係る自治体総合施策の研究(1)ー、神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要 13(2) 129-148
2. 渡部(君和田)容子・國本真吾(2018) 保育・教育費負担の現状と地方自治体による支援-漸進的教育無償化の視点から鳥取県を事例として-、生物理工学部紀要 42 33-43

【発表】

1. 渡部(君和田)容子、教育費支援情報に関する都道府県の広報のあり方、日本教育学会第79回大会、2020年8月24日~28日(web掲載)
2. 渡部(君和田)容子・國本真吾、鳥取県における保育・教育費負担の現状と支援策、大学評価学会第15回全国大会(於別府大学)、2018年3月3日